

第4回 まちづくりミーティング

日時：令和元年11月29日（金）14：00～15：00

場所：市民交流プラザふくちやま 4階 会議室4-1

団体：福知山の大学を支援する会

主な話し合いの内容

団体：京都創生大学時代は地元企業の採用機運を高めるために懇談会を設けていた。福知山公立大学の学生は東京、京阪神への就職が多いように感じるが、福知山で就職してもらうためには福知山の企業との連携が必要では？

市長：北近畿出身者の入学確保が課題で、高校には入学のお願いに回っているが、地域枠の入学がなかなか増えないのが実情である。一方で、福知山以外の出身の人が福知山に就職している話も聞いている。

団体：北近畿の大学として持続的な運営を進めていくためにも近隣市町に財政支援を求めるべきでは。

また、福知山でしっかり学んでもらうために体育館や寮の整備も必要だと思う。

市長：財政支援まですぐに結びつかないが、近隣市町にも自分たちの大学と認識してもらい、広域連携の取り組みの柱になっている。

体育館の課題は認識しているが、まずは大学でキャンパス全体の将来ビジョンを示す事が大事で、その作成にあたっては市も一緒に取り組んでいく。寮の民間建設に向けて、市が遊休地のサウンディングを実施しているところである。

団体：北近畿の人が、より自分たちの大学と思ってもらえるよう、大学の名前を「北近畿公立大学」にした方がよいと思う。

京都府の事業で、高齢者と学生の同居支援の事業があるが、そういった事業を活用しながら、高齢者の生きがいを生み出したり、下宿に際して改装すれば産業にも潤いをもたらすことができると思う。

市長：大学法人が運営しており大学の思いもあると思うが、名称はすぐに変えられるものではないだろう。

京都府に「ソリデール」という若者に高齢者宅の一室を提供する事業があるので、そのことだろう。福知山市内でも2件の実績があるので、うまくマッチングしていけば良いと思う。

団体：大学の学生がフィールドワークだけでなく旧三町に住んでもらって、周辺部の若者の人口増に繋がって欲しいと思っている。

市長：「三和町に住みたい！」と言って一人学生が住んでいる。フィールドワークで学生との関わりがあるとのことだが、ぜひ、学生には企画から携わってもらえるよう地域からも働きかけてみてはどうか。地域のことを考えていく中で地元愛が醸成されていくものだと思う。また、市としては、企業ともしっかり結んでいき、起業したい人のニーズにも応えられる体制をつくっていきたい。

団体：大学周辺の整備で桃池周辺は環境が良くなった。道路も早期に整備して欲しい。
市長：桃池や草池は治水の機能も持ち合わせている。令和2年度の完成を目指して整備を進めていく。

団体：福知山での就職促進には受け皿となる産業界が頑張ってもらう必要がある。
市長：産官学コンソーシアムをすでにつくっている。産業界にも入ってもらって北近畿の活性化に向けて進めているところである。

団体：近隣市町との連携が必要なのに、京都府の大学政策が見えない。
市長：京都府にはこれまでも言い続けてきて、地方大学の重要性は認識いただいているところである。京都府へは、引き続き大学の位置付けを明確にしてほしいと訴えていく。

